

かがやく



第4号

平成9年3月

企画編集：生涯学習をすすめる市民の会編集委員
発行：入間市教育委員会社会教育課



すべっちゃおー!

黒須公民館フォトクラブ入間 橋見勇雄さん撮影

ざくばらん「皆」さんの声

お尋ねしました

「生涯学習の体験で得たことは何ですか。」
「内は取り組んでいる学習

■年齢を越えた友人ができたこと。良い指導者に巡り合えたこと。歌がたくさん覚えられ、楽しく、ストレス解消↓家庭円満につながっている? 「コーラス」

手。これらのおかげで、前向きに輝ける気がする。 「人形劇」

30歳代女性(新光) 内藤さん

30歳代女性(小谷田) 石川さん

■多くの友人ができ、生きがいもて、毎日が楽しくなった。

■若々しく年をとれる。 「茶道・エアロビクス他」

「カラオケ・写真他」

40歳代女性(扇台) 小山さん

70歳代男性(小谷田) 小高さん

■前向きに学習できる喜び。友人の輪が広がった。 「ダンス・習字他」

■多くの人と出会い、学び合い、励まし支え、生きがいにつながっている。 「剣道」

60歳代女性(下藤沢) 田中さん

30歳代男性(牛沢) 吉川さん

学習や活動の充実ぶりが伝わり、学校で受ける教育との違いを感じました。教育の場合、成果は師との出会いにかかっていますが、生涯学習では、多くの仲間と学び合い、時には教える立場にもなつて、ネットワークが広がり、参加した人が楽しく学習しています。「継続は力なり」という原さんの言葉も印象的でした。

■地域にとけ込むことができ、友人が増えた。それぞれ10年余り、教え、教えられの喜びを知る。「継続は力なり」と思う。

60歳代女性(黒須) 原さん

「自強術他」

■仲間と充実感、たくさんの拍

60歳代女性(黒須) 原さん

この情報紙は再生紙を使用しています。

生涯学習のシンポジウム開催される

昨年12月1日、産業文化センターで開催された第二回いるま生涯学習フェスティバルのイベントとして、「学ぶ楽しさ、生涯学習の理解を深める、これからの生涯学習のすすめ方」等についてパネリストと会場の人達が共に考える生涯学習シンポジウムが開催されました。

テーマ／「生涯学習で自分づくり・まちづくり」

コーディネーター／山本和人氏（東京家政大学助教授）

パネリスト／西沢しのぶ氏（入間市民混声合唱団代表）・松永輝義氏（生涯学習をすすめる市民の会長）・木下博氏（市長）

◇生涯学習への取り組み

一人の女性また人間として、輝いていたという願いで自分の好きな音楽に係わりながら人の輪を広げていく楽しさを熱く

よく語る

主婦でもある西沢さん。

会長の松永さんは、30数年来、幼児から高校生にいたる年齢層との付き合いを

し、何か勉強したいと思ったときに学んできた自分を振り返り、子供たちが良い大人に育ってほしいとひたすら願いながら活動をしている。と尽きない経験談を話された。

市長は、生涯学習の教材は身の回りにあり特別なものでもない。市民の皆さんが学習に何らかの係わりを持ちながら住んでよかったと実感できる、まちづくりになれば、と呼びかけた。

◇人の輪を広げ、まちづくりを

人生80年時代を迎えた現在、

社会の成熟化、ニーズの多様化に対応するための学習需要が増大している。自己実現や精神的

な豊かさなどに対する意欲も高まっている。さまざまなジャンルで楽しみながら学び、充実した人生を送るための生きがいづくりでもあり、人の輪が広がり、市民参加のまちづくりにつながっている。

市（City）の語源は、市民共同体という意味であり、個々の市民が集団化してまちが出来るように、市民一人ひとりの学習活動を継続し、伝え広げることが大切である。（市長）

◇これからの生涯学習

人が育つには「場・物・人」の三つの環境が必要だ。同じようなグループが集約化し横の連携を太くすること、これらの人が育つ環境を充実し整えることが、良いまちづくりに欠かせないので、ネットワーキ化を支援する意味から、「場の活性化」は行政の大きな役割の一つだと思ふ。

（松永氏）

（詳細については、事務局に問い合わせ下さい。）

「いかに本物に近づけるか、この工夫が大変、苦しいけど完成が楽しくて」目を輝かせて語る長谷部さんは、人間模型同好会の会員。

飛ばない飛行機が生きてる魅力

長谷部浩一さん
(32歳・東町在住)

「夜、倉庫の前に置いてビデオを回すと、本物の飛行機が止まっているように写るんです」彼の語る描写に、思わずセピア色した映画の1シーンを描いてしまう。

「ここまでは飛行機が好きになつたのは、住まいが入間基地に近く、子どもの頃からお祖父さんが、飛行機を見につれていってくれたことかもしれません。好きで続けていことが生涯学習。長谷部さんは小さい時から今まで、好きで大空に描いていた夢を、飛ばないけれどより本物に近づけたいと凝り、それは仕事と地域活動に忙しく飛び回る一方、夜は最近作った工房で模型を組み立てている。



「夢は滑走路付きの格納庫を作って、プラモデルを展示すること。今年の生涯学習フェスティバルには、是非参加したい」と熱く語る。

珍しい模型飛行機に、興味のある方は、当日足を運んでみてはいかがでしょうか。

命人)



生涯学習の取り組み

生涯学習の主役は市民です。
行政は、市民の多様な学習活動や
広がりを積極的に支援します。

●市民一人ひとりの
生涯学習活動の輪を
広げ、市民と行政が
一体となつたいるま
づくりを進めます。

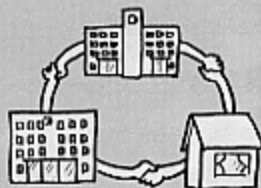


●市民による、市民のための
生涯学習

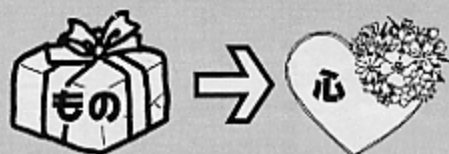
●市民と行政が一体となつて
行う生涯学習による街づくり

●豊かな心ふれあう
お系のまちいるま

●家庭、学校、地域
の連携によりまち全
体で活動を支援しま
す。



●学習活動の主体と
しての市民と学習環
境づくりを進める行
政とが連携、協力し、
総合的かつ効果的な
施策の展開を図りま
す。



●指導者、ボランテ
ィアの養成と活用
●学習成果の評価と
活用



みんなの力を活かそう!

◇参加者からの
意見・提言—

★ 企業内には、日本の高度成長を引っ張ってきた貴重な人材が豊富にいます。企業内のみならず地域社会で教えたいという人が多くいることから、地域住民と企業という形で、教え学び合う楽しさを共有できる仕組みを考えていく必要があると思う。

★ 伝統行事などを伝承することにより、世代間の交流が図られる。若者から新しい知識を学ぶことができ、学ぶ楽しさや伝えるよろこびを実践できるような活動に対して支援をしてほしい。

忘れられない 土の感触

県立入間向陽高校
陶芸部

「技術は難しいけれど、練習して、いつか壺を完成させたい」

一年生部員の竹本博子さんは、

「土の感触が忘れられずに、休みの日に卒業生が来ることもあるんですよ。そんな時はうれいですわね」と、引間先生。

もあろうかと思われる大きな壺がズラリと並んでいる。県展に入選した作品もいくつか。

全国的にも珍しい高校の陶芸部。入間向陽高校では昭和58年の開校当時から個性重視の教育方針がうち出され、特色の一つとして陶芸部もスタートした。

当時は宮下秀夫先生、現在は工芸専門の引間道子先生が指導にあたっている。



活動は放課後、毎日行なわれる。粘土を上に伸ばす技術は、中心をとることや、厚さを均一にするのが難しく、入部してしばらくは練習のくり返しである。11台あるろくろはすぐにふさがってしまう。

は20代から50代と多彩。引間先生は、「社会人の皆さんは、意欲があるので楽しい。いい刺激になります。またやりたいと思っっています」と、語ってくれた。

秋の市内万燈まつりでは、部でブースを借り、皿、湯のみ、マグカップ、花瓶など数百個を展示し、販売する。完成度が高く、センスが良いと評判で、楽しみに待つ市民ファンもいる。売れゆきは上々、成果を問う恒例行事となった。

生涯学習といえば、ここでも社会人向け陶芸講座を過去4回開いている。参加者

と語る。

(一生鬼)



生涯学習 知ってる つもり

平成9年度版「生涯学習ガイドブック」は6月、発行の予定です。
各公民館の4月～6月開催予定の事業を案内します。
詳しいことは、各公民館に問い合わせ下さい。

中央公民館

- 4月
●市生け花展
●市民親善同喜大会
5月
●野鳥展
●カントリーエイド
●キャンプ用品貸出研修会
6月
●市書道入展
●市吹奏楽団定期演奏会

高倉公民館

- 4～5月
●子ども会指導者養成講座
5月
●自然観察学習会
5～6月
●テニススクール(黒須公民館共催)
5～7月
●子ども会インリーダー養成講座
●お母さんの勉強会

宮寺公民館

- 4月
●子ども会育成者養成講座
(二本木公民館共催)
5～7月
●おかあさんの勉強会
(二本木公民館共催)

扇町屋公民館

- 5月
●植物散歩
5～6月
●チビレダンススポーツ教室
(香織ベテラン)
5～9月
●歴史講座
5～10月
●コミュニティプラザO
5～11月
●お国自慢料理教室
5～12月
●おもしろ発達地

金子公民館

- 4月
●子ども会指導者養成講座
●ジュニア・インリーダー養成講座
●幼児サークル育成講座
5月
●中高年のための軽登山入門教室
●ファミリーコンサート
6月
●軽スポーツ教室

東金子公民館

- 4月
●第3回さくらまつり
5～6月
●野草観察会
●男の料理教室

二本木公民館

- 5～6月
●ハーブづくり教室
6～7月
●ボールペン習字教室

東藤沢公民館

- 6月
●講演アニメーション物語
5～7月
●七宝焼教室

藤沢公民館

- 5～7月
●ドッグトレーニング
●輪餅作り教室
●プランター野菜作り教室

西武公民館

- 4～5月
●フラダンス教室
5～6月
●陶芸教室
6～7月
●フラメンコ舞踊教室

藤の台公民館

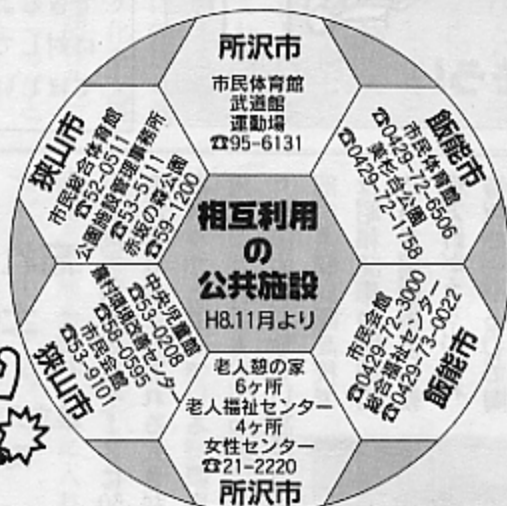
- 5月
●お茶つみ体験教室

黒須公民館

- 5～6月
●テニススクール
(高倉公民館共催)
●歴史講座
●子育て講座

東町公民館

- 5月
●子ども会育成者養成講座
●サロンコンサート
6月
●子育て講座
●キッズチャレンジアート
●写真セミナー



図書館に続いて入間・所沢・飯能・狭山4市の文化・体育施設などが所在する市民と同額で利用できます。
問い合わせ 市役所企画課(内線3135)

山菜研究 ハイキング

- コース：バスで新潟県入道瀬村へ
約2時間散策の後、山菜の食事
と温泉入浴の旅
■日時：6月7日(土) 日帰り
■参加費：約6,500円(バス代、食事代)
■講師：片岡 博(日本山岳会会員・山菜研究者)
■主催：山菜研究ハイキング実行委員会
■申込み：もとがし薬局 ☎32-0210
下野 ☎64-4447
並本 ☎63-1007



募集します

●表紙の写真
テーマは、世代間の交流が
あふれる人物写真。

●一生懸命人

人よりちよつと特技、技術
の光る方。自薦、他薦可。

●原稿募集

各コーナーに意見、質問、
生涯学習に関する情報等。
情報紙に関する問い合わせは
市社会教育課(生涯学習担当)

(64) 11111 内線4123
FAX (64) 4841



全戸配布にな
って、どれだけ
の人に読んでい
ただけたのか。

スタツフ一同反響を励みに第4
号を作りました。
新久の内田さんから、もつと
わかりやすい紙面を、とお便り
も届きました。これも「学ぶ喜
び、伝える喜び」の輪が、浸透
してきたから、皆さん意識して
アンテナを高く張っているのだ
と思いました。
市民の会が果す役割は、市民
と行政のパイプ役。常にパイプ
の通りをよくしていよう。
そして会員自身も、生涯学習に
燃えていきます。

提言、情報を楽しみにして。
次号は10月発行の予定です。